事業番号	10 09 08	事業改善	ノート(26年度)	実施事業分)	□予算要求	口当初予算》	案 □補〕	E予算案	■点検	
事業名	マッペッし承掛けしも英事業典			光弗		部局	建設部			
尹 未 石	アスベスト飛散防止対策事業費				担 当	課·室	建築住			
巛入これ 左	プロジェクト				課	E-mail	kenchik	u@pref.naga	no.lg.jp	
総合5か年 計画	施策の総合的展開	3-2 豊かな	な自然環境の保全							
	ルビスペッルの日日が及り	1 水・大気	気環境の保全	環境の保全			実施期間 H18		~	
1 事業の	概要									
	口田油炊业のフェ	Sel 050 + 12 + 19	Lbz-l	マトの 恋 掛いて トフ だ		حد ا				
目指す姿	民間建築物のアスベストの除去に補助することで、アスベストの飛散による健康被害を防止する。 (長野県住生活基本計画では、平成32年度までに大規模民間施設のアスベスト除去率を50%に引き上げることとしている。)									
現状	本事業により、多数の	の者が利用する旅	設の多数の者が共	用する部分の露出	出した吹付アス	ベスト除去に	対して補助	助をしている	0	
	本事業により、多数の者が利用する施設の多数の者が共用する部分の露出した吹付アスベスト除去に対して補助をしている。 対策として囲い込み・封じ込めが行われているが、抜本的な対策である建物からの完全な除去は、建築物所有者にとって多額の費用が必									
時)	要であり、経済的状況等から進まない状況にある。									
県が関与	県でなければ実施不可(その他) 【左記の説明、根拠法令等】									
する理由	長野県任生活基本計画において、除去率50%を目標として取り組んでいる。									
	ポスとり 									
	① 成果目標(H26)									
	大規模民間建築物の吹付アスベスト除去率 (現況24%(H24年度末)を、平成26年度末に28%、平成32年度までに50%に引き上げる。) ② 事業内容 (単位:千円) H26 H27									
	項目	実施方	ī方法	H26事業実績			当初)	 (決算)	H27 (当初)	
		LAULA		施設:3施設				(V\ JP)	(=1)(1)	
	吹付アスベストの	除去 補助金· 交付金	^{刀金・} 補助金額:2,00	補助金額:2,000千円		for Williams	4,548	(6,000	
			補助率:【国】1	補助率:【国】1/3【県】1/6【市町村	寸】1/6【施行ā	者】1/3				

成果目標• 事業内容	

項目	実施方法	H26事業実績		Н	H27	
模 目	夫肔刀伝			(当初)	(決算)	(当初)
吹付アスベストの除去	棚助金•	除去施設: 3施設 補助金額: 2,000千円 補助率: 【国】1/3【県】1/6【市町村】1/6【施	5行者】1/3	4,548	0	6,000
			合計	4,548	0	6,000

	Σ	区 分(単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27年度
	予 算 額		前年度繰越				
			当初予算	7,356	5,078	4,548	6,000
事			補正予算	-5,876			
業			合計(A)	1,480	5,078	4,548	6,000
^			一般財源	1,480	5,078	4,548	6,000
⊐			県 債				
_			国庫支出金				
^			その他	0	0	0	0
۲	決 算 額(B)		0	3,282	0		
	概 第		職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05
			概算人件費 (C)	413	413	413	413
	概算事業費(B(A)+C)		413	3,695	413	6,413	

成果目標の達成状況						
項目	H25末 (実績)		H27			
快日		目標	成果	達成状況	目標	
吹付アスベストの 除去率	26%	28%	26%	未達成	28%	

目標に対 する成果 の状況

アスベスト除去等に関する市町村の補助制度は21市町村で実施しているが、今年度はアスベストの除去工事が実施されず、目標に及ば なかった。 平成26年4月の消費税増税に伴う駆け込み需要や建設労働者不足等がその要因として考えられる。

2 今後の事業の方向性

人 然 古墨	□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行とおり実施
今後、事業をどのよう	
にしていき たいか	平成27年度は、アスベスト除去の補助制度のある市町村やアスベスト所管部署等と引き続き連携し、健康被害を及ぼすアスベスト対策として対象建築物のアスベスト除去率の向上を図っていきたい。